

一般財団法人 日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会準備会
Japan Trusted Alliance Group for cybersecurity 略称:JTAG(ジェイタッグ)

設立趣意書

時代は Society5.0 に向かっています。

経済発展と社会的課題解決の両立を目指して産業分野ではいろいろな取り組みが行われており、AIやIoTなどの急速な発展やその他の技術革新により新しい価値が生まれ、あらゆる人々が分け隔てなくメリットを享受できる時代へと大きく変化していきます。そこでは、変化を下支えする専門家は益々高度になる役割を全うできるように、腕と人格を磨き適応していくことを求められています。

一方、進展につれて専門家の需要と供給のバランスも大きく変化し、先々には消えていく職種もあること、さらに少子高齢化と長寿化により個人として長い職業人生設計が必要となり、複数の職を経験しながら生涯を終えることが当たり前の時代になることも同時に予想されています。職の転換や多様な働き方、シェアリングエコノミー普及などを支える人材の流動化時代を安心して過ごせる社会構造を実現することが真の“人が中心”の“Society5.0”の姿です。

その実現の鍵は、膨大な職のミスマッチを生まない事、となります。

最近、技術者の流動化や新しい職の誕生が一部では見られるようになりました。しかし、まだ十分とは言えません。現在既に高度IT技術者を対象に多くの需要があることは分かっていますが、人生をかけて安心して飛び込むほど社会基盤が成熟できていません。特に、サイバーセキュリティ分野では、サイバー攻撃による脅威や情報漏えいリスクの加速度的な増大に立ち向かう人材の不足も具体化しており、大手企業や官公庁を中心に高度技術者の獲得競争は確実に激化しています。

しかし、セキュリティの領域が組織的対応、多岐にわたるIT分野への対策、社会的ダメージが大きい事故対応など、IT技術に留まらず広範囲のスキルや経験を備えて活動することが求められるため、多くの組織ではセキュリティ対策として必要な業務や携わるセキュリティ人材の定義や実力値などに対する必要なスキルや経験を測る尺度も明確ではなく統一もされていないなど数多くの課題があります。そのため、不明瞭なニーズ定義や配置ミスマッチが発生し、結果として貴重な人材の活用が図られていません。また、医者や弁護士並みの信頼度も必要な中、その必要な信頼度の見える化も進んでいません。

人材サイドからみても、一言でサイバーセキュリティといってもどのような職があり、どのような役割や責任を担うのか、その為にはどのようなスキルと適性が必要なのか、レベル毎の待遇や将来性はどうかなどを知る手段がありません。よって自身のキャリアパスを描くマインドも醸成されないため研鑽意欲もあがらず、社会的認知の向上や人材確保にも繋がっていきません。

これらの課題を解決するために、2017年よりISEPA(JNSA配下の情報セキュリティ教育事業者連絡会)により、人材ニーズの明確化とキャリア基盤拡充施策の検討を開始し、持続性の高い「セキュリティキャリア形成モデル」が作成されました。その中核成果となる「スキル可視化基盤」を活用したデータベースを構築運用し専門職に限らず多岐にわたる人材が登録することで、多種多様な形での活用が可能となるものです。また、このデータベースを基に求められる職務へ対応可能な人材が認定されることで、信頼度が高い高精度の適材適所を図ることが可能となります。これらにより初めて人材は安心して流動化出来るようになり、組織も優秀な人材を確保出来るため、人材の地位向上と適切な活用の両面で効果が期待できるようになります。

このシステムを実現し、セキュリティ人材のエコシステムを構築することで持続性の高いセキュリティキャリア形成モデルを支えるべく、一般財団法人 日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会(略称:JTAG)を設立します。JTAGでは登録者個人の自己成長やキャリアデザインとしての利用はもちろん、組織においてのセキュリティタレントマネジメントツールとしての利用や人材サービスとの連携での高い適合度での人材採用を図るだけでなく、個人が目指す或いは組織で必要な職務や役割に対しての効果的且つ効率的な教育プランニング利用など様々な価値を生み出されていきます。

また、JTAGの目的である適切な人材流動化によるセキュリティ人材の充足を目指すだけでなく、Society5.0の時代に向けて専門家の職に対するマインド改革に一石を投じ、人生100年構想での働き方改革実現に寄与するだけでなく、様々な分野で活躍する専門家のキャリア構造改革において先駆的役割を担いたいと考えています。これは、次の世代へのレガシーとしてのJTAGの大きな使命でもあります。

以上のことから第一歩として財団法人を設立し、事業化への具体的な活動を始めていきます。

■ 事業内容

- ・セキュリティ人材のスキル認定制度運用
- ・セキュリティ人材スキル可視化プラットフォームの各種サービス提供
- ・セキュリティ人材育成のための各種教育研修の紹介・斡旋
- ・セキュリティ人材のキャリアデザイン調査、需要供給調査・分析
- ・上記に付随した各種コンサルティング
- ・その他人材のキャリア基盤拡充、キャリアアップのための活動全般

■団体名(仮称)

日本語表記：一般財団法人 日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会準備会

英語表記：Japan Trusted Alliance Group for cybersecurity

略称：JTAG(ジェイタッグ)

■事業年度:4月1日～翌年3月31日

■設立人

- ・(設立人代表)株式会社ラック
- ・株式会社 VSN
- ・株式会社 パソナテック

■設立時基金(予定拠出金)：300万円

■スケジュール

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・2019年 12月末 | 設立発起人確定 |
| ・2020年 1月中旬 | 準備会組織、構成員、定款等確定 |
| ・2020年 1月下旬～2月初旬 | 登記完了 |

●理事候補

- ・持田 啓司 (株式会社ラック)
- ・玉川 博之 (株式会社 VSN)
- ・平野 恭祐 (株式会社 パソナテック)

●評議員候補

- ・平山 敏弘 (情報経営イノベーション専門職大学 教授)
- ・五島 浩徳 (ITGI Japan 理事)
- ・新井 是昭 (ヤマト運輸株式会社)

●監事候補

- ・舘岡 均 (特定非営利活動法人 日本システム監査人協会 副会長)

●事務局長:大槻 晃助

事務局:株式会社ラック内